



体協だより

(第34号)

発行／(一社)小平市スポーツ協会

発行責任者／荒武宗昭(編集/広報部会)

連絡先／042-349-1350(スポーツ協会事務局)

ホームページ/<https://kodaira-sa.org/>



新年おめでとうございます

スポーツ協会 会長 荒武宗昭

新年おめでとうございます。スポーツ協会会員の皆様にはお健やかに新春をお迎えのことと思います。

今年2025年は「十干十二支」でいうと、「乙巳(きのと・み)」と言う事です。

乙とは十干(甲乙丙丁～癸)の2番目で、物事が根付き、しなやかに成長し始める段階を表しています。

巳は、蛇が脱皮をするように変化し、次の段階へ進む力を持つ干支であり成長や再生を意味します。

スポーツ協会が新たなステージに進むため、変化を恐れず、思い切った挑戦が成果をもたらし、これまで培ってきたことが新たな形で発展すると言った転機や再生の年になりそうです。

平成22年に「一般社団法人小平市体育協会」を立ち上げてから15年が経ち、小平市のスポーツの主要事業の全てを主管させてもらってから13年、さらに、平成27年度に「市民総合体育館」の指定管理者を任されてから10年の実績を残して参りました。

まさに、これまで培ってきた事を新たな形で発展させて行かなければならない勝負の「乙・巳」の年を迎えたと言う事だと思います。

今年は、“東京2025世界陸上競技選手権大会”また、“東京2025デフリンピック大会”が開催されます。自分の年代では、二度と見る事の出来ないような大きなイベントだと感じています。このような恵まれた時に生きていられる事、スポーツに関係する仕事をさせてもらっている事に感謝しながら、今年1年を乗り切って行きたいと考えております。

会員の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



トップアスリートによるランニング教室



今年度のトップアスリートによるランニング教室は、東京経済大学陸上部駅伝監督である「吉村 匠先生」をお迎えし、天気にも恵まれ、令和6年9月8日(日)に開催されました。

参加者は全部で96人、内訳は、1・2年生 63名、3・4年生 33名となりました。

吉村先生の言う事を真剣に聞き、自分の走るタイムも測定してもらい、それぞれに充実した時間を過ごしていたようです。

走る事は、何のスポーツにでも基本となる事から、この教室に参加した子供たちが、将来、何らかの種目のアスリートになってくれそうな、そんな期待が持てる“トップアスリートによるランニング教室”でした。



第35回市民スポーツまつり



今年の、第35回市民スポーツまつりは、10月13日(日)に開催されました。天候にも恵まれ、参加者は、5,360人でした。

家族連れの参加が多く、子どもから大人まで様々なスポーツに触れて頂きました。

恒例のキックターゲット、ストラックアウトなどのほか、昨年に引き続きFC東京ダブルスライダーのコーナーも設けました。

また、今年度は、日本ブラインドサッカー協会による体験コーナーや、2025年に開催される“東京2025世界陸上競技選手権大会”“東京2025デフリンピック大会”に因んだコーナーも設けました。どのコーナーにも多くの参加者がありました。

お昼のアトラクションでは、その場で参加を募り、紅組、白組に分けて、玉入れ大会を、その後には、パン食い競走をおこないました。コロナの影響で今までパン食い競走を経験したことのない子ども達もいましたが、楽しそうに参加していました。



当日、役員として参加して頂いた事業部会の役員、また、各団体から選出された役員など、各コーナーに携わって頂いた皆様方には、全員で、市民スポーツまつりを盛り上げて頂き、心から感謝申し上げます。

第46回小平市民まつりパレード

10月20日(日)に開催された今年の、小平市民まつりの参加者は、大人：140人、小人：70人、の合計210人で、参加団体は24団体となりました。



“小平市スポーツ協会”に改名してから初めての市民まつりとなり、各加盟団体が一目で分かるユニフォーム姿で行進が始まると、「沿道の市民からは拍手が沸き、注目のパレードとなりました。」



少年野球チームの選手が旗手を務め、200人以上のスポーツ選手が行進するのは“スポーツ協会”ならではの圧巻の光景です。

天候にも恵まれた穏やかな市民まつりで、参加者数は、延べ12万人だったそうです。

第1回スポーツ協会研修会

令和6年11月2日(土)に開催された、スポーツ協会研修会は、加盟団体会員44名の参加を頂き、ムーブメントプレパレーション「誰でもどこでもアスリートのエクササイズ」を実施しました。



「誰でもどこでもアスリートのエクササイズ」を実施しました。

今回の研修内容は、以前参加して頂いた受講者のアンケートの回答に、“家庭でも出来る運動”を希望する方が多いことから、研修部会で話し合い今回の研修会を企画しました。

話し合いをしていく中で、研修部会のアドバイザーとして参加して頂いている、スポーツ協会常務理事の尾方一輝氏からのアドバイスがこの度の研修内容の決め手となり、合わせて尾方一輝氏を講師としてお願いする事となりました。

尾方氏は、スポーツ協会加盟団体である小平市少林寺拳法連盟に所属し、地域ではサッカーをされ幅広い検定資格を持っていらっしゃいます。



今回の研修のメインテーマは、「ムーブメントプレパレーション」サブテーマとして「誰でもどこでもアスリートのエクササイズ」

「無理なく柔軟性と強さを身に付け、日常の健康づくりや怪我の予防に役立てよう」

をテーマに行いました。

参加者からは

- ① すぐに取り入れることが出来る内容で参考になった。
- ② 人間の動きを理論的に説明して頂き良く理解が出来た。
- ③ 急にムーブメントプレパレーションは難しかった。などの感想有りました。

ご参加いただきました会員の皆様、ありがとうございました。

ご参加いただきました会員の皆様、ありがとうございました。

ご参加いただきました会員の皆様、ありがとうございました。

ご参加いただきました会員の皆様、ありがとうございました。

ご参加いただきました会員の皆様、ありがとうございました。

第49回小平～多摩湖歩け歩け会

令和6年11月10日（日）第49回小平～多摩湖歩け歩け会が開催されました。



当日は曇り空で肌寒さを感じる中でしたが310人と多くの方が参加され、花小金井駅・小平駅・萩山駅からそれぞれ出発し、多摩湖までの最長

8.6kmの多摩湖自転車道(水道道路)を元気よく歩き、ところどころ 秋の紅葉を楽しむことが出来ました。

今年も学園東小青少対の10家族、30人が参加し、みんな笑顔でスタートして行きました。参加者には、

2WAYライトの参加賞が配られました。

また、ノルディックウォーキングで健康増進を目指す方が多数参加され、ゴールまで怪我等なく無事に全員が完歩されました。運営にご協力いただいた役員の皆様に感謝申し上げます。



第50回少年少女マラソン大会

令和6年11月17日（日）秋晴れの中、毎年恒例



の第50回少年少女マラソン大会が中央公園競技場及び外周コースで行われました。

本大会には545人の申込があり、当日は436人の参加の下、小学校3年生から6年生の男女別に14レースに分け、数多くの先生や保護者の方々の応援のもと、白熱したレースが展開されました。入賞者、参加選手には一喜一憂の顔があり、微笑ましく感じました。

小林市長、松岡議長、青木教育長には、いくつかのレースのスターターをお願いし、表彰式にも市長、議長、教育長をはじめ教育委員の皆様にご協力を頂き、入賞者の健闘を称えてもらいました。

この大会は、もともとは、市教育委員会が所管していたものを、平成26



年にスポーツ協会が譲り受けた事業のため、今年も多くの校長先生方が応援に駆けつけてくれました。

この選手の中から、将来のオリンピック選手が誕生することを期待し、毎年大きな夢が膨らむ大会となります。

こどもボッチャ大会（トピックス）

令和6年8月25日、市民総合体育館で、“小平市民スポーツ祭”の一環として、こどもボッチャ大会が開催されました。この大会は、ボッチャによる親睦を図る目的で開催されたものです。

小・中学生を中心に10チーム、34名の事前申し込みがあり、最年少参加者の5歳の男の子の見事な始球式で試合がスタートしました。



参加者は真剣そのもの、大人顔負けのプレーで熱戦を繰り広げた結果、優勝は中学生チームの「Red Forest Jr.」、準優勝は「ホヌ」、3位は「いしいさん」、チームになりました。

表彰式では、小林市長から優勝カップ、金銀銅のメダルが授与され、子どもたちは神妙な中にも嬉しさいっぱいの表情でした。

表彰式の前には市長と参加者とのフレンドリーマッチも行なわれ、大いに盛り上がりました。



負けて悔し涙が見られるのも、子ども大会ならではの風景でしたが、最後は参加者も、応援の家族も、スタッフも、皆が「楽しかった！」と笑顔で終わる事の出来た大会でした。

大 会 成 績

小平市弓道連盟 令和6年11月24日(日) 第62回市民スポーツ祭 弓道大会

種 目	優 勝	準優勝	第3位
霞的1部(3段以下)	森山 花(6中)	平野 朋美(6中)	三浦 和子(5中)
霞的2部(4段以上)	菅 俊太郎(5中)	吉江 徹(5中)	小椎尾 智子(5中)
色的1部(3段以下)	都合により中止		
色的2部(4段以上)			



小平市アーチェリー連盟

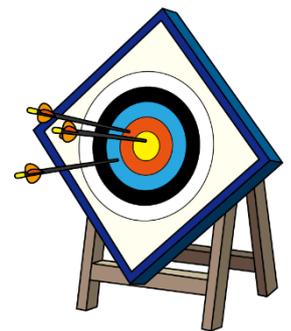
令和6年11月10日(日) 第23回西ブロック親睦大会
都立小金井公園弓道場 選手7名、審判1名参加

種 目	順 位	選手名
CP 50/30m 男子	1位	近藤 均
RC 50/30m 男子	5位	網野 永芳
RC 50/30m 女子	1位	中島 まり子
CP 30mW 女子	1位	近藤 幸子
RC 30mW 男子	1位	保坂 恵司
	5位	ティム コートニー
RC 30mW 女子	6位	黒木 里美

令和6年11月17日(日) 第62回市民スポーツ祭

第44回市民アーチェリー大会 小平市民総合体育館弓道場

種 目	順 位	選手名
初心者の部(合計60射)	1位	沢田 かおり
	2位	夏 苗
CPの部(合計60射)	1位	近藤 均
	2位	近藤 幸子
	3位	祝 迫 修
	4位	小金井 勉
RC チャンピオンフライトの部 (後半 30射で順位決定)	1位	中島 まり子
	2位	保坂 恵司
	3位	ティム コートニー
RC Aフライトの部 (後半 30射で順位決定)	1位	黒木 里美
	2位	網野 永芳



小平市テニス協会 第62回市民スポーツ祭 秋季市民テニス大会

		優 勝	準優勝	第3位	第3位
男 子	A級	狩 谷 大 樹 (小平TC) 赤 羽 毅 郎 (フリー)	小 嶋 諒 (ノア国分寺) 速 川 涉 (ノア国分寺)	高 野 湧 介 (フリー) 四ノ原 冬 徒 (バウンサー)	村 岡 宏 樹 (NTC) 安 光 悠 人 (4U)
	B級	村 井 哲 雄 (4U) 富 海 亮 太 (フリー)	沖 永 祐 樹 (ブリヂストン) 狩 谷 直 輝 (ブリヂストン)	米内山 雅 人 (フリー) 倉 持 哲 也 (フリー)	若 尾 春 男 (フリー) 田 中 章 (上水TC)
女 子	A級	宮 下 華 子 (フリー) 長谷部 杏幸 (フリー)	磯 部 里 咲 (フリー) 堀 奈津美 (ブリヂストン)	奥 本 法 子 (BIGBOX) 牧 窪 としえ (BIGBOX)	長 島 ユミ子 (フリー) 喜 瀬 恵 子 (フリー)
	B級	川 口 沙 知 (フリー) 四ノ原 真 紀 (サンテック)	佐 藤 舞 奈 (YTTS) 斉 木 芳 誇 (YTTS)	大 竹 恭 子 (エンジェルス) 菅 井 恵 美 (フリー)	池 田 実輝子 (フリー) 佐 藤 友 子 (小平金曜会)
ミ ッ ク ス	A級	磯 部 里 咲 (フリー) 狩 谷 大 樹 (小平TC)	宮 下 華 子 (フリー) 長谷部 慎 (フリー)	篠 田 太 紀 (フリー) 篠 田 咲 子 (4U)	貫 井 栄 男 (フリー) 安 達 彩 夏 (フリー)
	B級	中 田 彰 子 (フジノ) 中 川 寛 平 (フリー)	小 川 篤 史 (ハイボール) 今 野 恵 子 (フジノ)	米内山 雅 人 (フリー) 六 田 千 津子 (フリー)	高 橋 祥 (月花美人) 吉 田 和 生 (月花美人)
男 単	A級	井 上 開 登 (フリー)	安 光 悠 人 (4U)	枝 廣 憲 (小平TC)	四ノ原 冬 徒 (サンテック)
	B級	松 本 竜 斗 (小平第五中)	貫 井 栄 男 (フリー)	矢 田 駿 (フリー)	長 智 弘 (喜平TC)
女 単	A級	宮 下 華 子 (サンテック)	森 川 美 絵 (4U)	武 智 一 恵 (小平TC)	横 田 佳奈子 (フリー)



小平市軟式野球連盟 令和6年度 春季軟式野球大会

	優勝	準優勝	第3位	第4位
一般大人 1部	アベンジャーズ	中央CHC		
〃 2部	Aburaise	トライスターズ		
〃 3部	KC251	パワーズ		
学童の部	小平フレンズ	小平ライオンズ	小平ジャガーズ	小平スネークス

小平市ソフトテニス連盟 第62回市民スポーツ祭 秋季市民大会

9月8日(日)	優勝	準優勝	第3位
個人戦 シニア男子1部	笹 埜 桂 一 佐 藤 宏 明	村 田 優 榎 本 壮 平	
個人戦 シニア女子1部	菅 原 正 美 鈴 木 明 子	栗 島 喜久美 加 藤 裕 子	
個人戦 シニア女子2部	森 川 陽 子 吉 田 眞 弓	山 田 江 美 染 谷 成 子	

9月15日(日)	優勝	準優勝	第3位	第3位
個人戦一般男子	尾和瀬 柊 斗 丸 山 滉 太	五十嵐 瑛 中 村 和 彦	黒 岩 智 彦 七 條 隼 宜	島 津 凌 高 橋 直 樹

9月22日(日)	優勝	準優勝	第3位
団体戦男子1部	地面師	小顔クラブ	ダブルフォルト

9月29日(日)	優勝	準優勝	第3位
団体戦男子2部	きままクラブ		
団体戦女子2部	きままクラブA	小平クラブ	小平市役所



編集後記

本“体育協会だより”は、イベントの取材や原稿作成までを、当協会広報部役員にお願いし、それを事務局が編集しているものです。広報部役員には大変お疲れ様でした。

なお、令和7年度(第35号)から、名称については、今後、スポーツ協会として検討を続けて参ります。